

硫化銅、硝酸銅
 酸化水銀
 鍍金及鍍銀
 イリヂウム、オスミウム
 放射性元素
 エチレン
 ケトン
 酪酸、乳酸
 琥珀酸、林檎酸
 蠟
 果糖、乳糖、麥芽糖、糊精
 シアン及シアン化合物但しシアン化カリを除く
 ピクリン酸、安息酸
 アルカロイド但しニコチン、キニン及モルフィンを除く
 右の事項中或ものは全く之を省略し或ものは特に題目を掲げて詳説せずして他の適當の場所にて便宜教授するものとし教授時數約二十七時間の餘裕を生じ得べき見込みなり。

卒業生諸君の寄稿を望む

卒業生諸君が實地教授上に得られたる經驗は在校生にとりて非常に貴重なるものたるは茲に辯ずるまでもなきことなり従來卒業生諸君に面會する毎に寄稿を勧誘せしこと幾回なるを知らぬ程なれど實際稿を寄せらるゝ方は甚だ寡き觀あるは遺憾なり。

寄稿は理科に關係あるものならば其種の如何を擇ばず卒業後研究調査せられたる事項の如きは元より可なれど此等は甚だ努力を要するものなれば餘暇ある諸君に於ても餘り容易に得られざるべきも教授上の經驗に至りては總て日々重ねられつゝあるものにて其間には教授上參考となるべき有益なる資料は多數得られ得べしと思考す茲に餘白を籍りて希望を述べ。

附言—寄稿者にして別刷を望まらるゝ方には實費を以て御望の部數印刷致させます。(平田)

参 考 書 紹 介

數 學

實 用 數 學

宮崎忠保著

數學叢書第十九編 數 學 史

佛國ぼあいえ一原著
林 鶴 一譯

數學叢書第二十編 初等幾何學作圖法

伊太利國えんりけす原著
林 鶴 一譯

數學叢書第二十一編 三 角 方 程 式

林 鶴 一 共 著
林 蓮 池 良 太 郎 共 著

理論應用算 術 講 義

寺 尾 壽 共 著
藤 野 了 祐

初等數學教授に就きて

大 上 茂 喬 著

初 等 方 程 式 論

林 鶴 一 共 著
小 野 藤 太 郎 共 著

算 術 教 材 整 理 と 究
應 用 問 題 解 說 の 研

野 口 秀 敏 共 著
宮 田 福 郎 次
井 上 賢

化 學

京都帝國大學教授 理學博士 水野敏之丞氏著

新刊 電子の活動

菊判洋装 紙數百七十餘頁・圖版四十餘種
全一冊 正價金貳圓・郵税金拾貳錢

内容目次—電子、原子、電子の電離作用と其電離電位、荷電原子及陰陽イオンの電離作用、真空放電、火花放電、雷雲及雷、X放射線、放射能作用的元素の原子より飛出する電子、r放射線、紫外線、X放射線及r放射線の電離作用、導電體に於ける自由電子、高溫度に於ける導電體より脱出する電子、ウェーネルト陰極、弧燈、水銀燈及クーパアヒューウィット燈、無線電信、スペクトル線、強電場及スペクトル、化學的作用、總論

「電子」又は「電子説」なる表題の通俗的と云はんか或はノンマセマセチカルと云はんか左様の書き振りの書は外國語では數多の出版ありと雖も未だ邦語にて書かれたるものあるを聞かざりしが最近丸善より表題の書籍發賣せられたり我は未だ通覽する能はざれど本書はノンマセマチカルの書にして先づ通俗的の書なれば我校卒業者にとりては好適の書ならんと思考す内容は上掲の如くにして從來難解なりし現象に説明を試みたるもの多し(大正七年三月十一日平田)

動 物

理學士 鷹司信輔著

飼ひ鳥 完 定價二圓五十錢

發行所 日本橋區十軒店 裳 華 房

理學博士 松村松年著

應用昆蟲學 完 定價六圓

發行所 京橋區尾張町二 警 醒 社

理學博士 三方恒方著

昆蟲學汎論 上卷 定價三圓五十錢

發行所 裳 華 房

理學博士 石川千代松著

人間の進化 完 定價三圓

發行所 小石川區竹早町 大日本學術協會

理學士 田中茂穂著

日本産魚類圖説 第二十七卷 定價一圓

發行所 本郷區駒込 田中茂穂 (平島)

植 物

小原龜太郎氏應用顯微鏡實習

瞭文堂發行價一圓二十錢

著者は小樽高等商業學校にて商品學を教授せらるる人にして本書は顯微鏡實習といふも世上に普通なる商品貿易品原料等を鑑別するに留まらず其科學的方法を述べたるものにして顯微鏡の種類用法等より植物解剖澱粉纖維等の原料商品の識別法等を述べたるものにして今此種の著述少き時に方り單に商品學の實習に好適なるのみならず應用植物學の一書として參考に適するものなり

白井博士<sup>訂正
増補</sup>日本菌類目録

著者は曾て第一版を公にせしより既に十年を細菌類學上の智識著しく増進し既知の種は三千五百を算するに至れり、本書は毎種に學名、和名、産所、寄主等を記す外に海外に於ける分布の主要なるもの及び重要なる參考書の名及頁數を掲げたれば専門家は以て參考とするに極めて必要なるものなり且つ著者は本邦に於ける斯學の泰斗にして多年此方面の研究に従事せる三宅農學士の手によりて更に補校せられしものなれば其學名の正確なる更に論ずるの要なきなり又使用者の新に發表せられたる學名を記入する便宜の爲め隔頁に印刷し白紙を存せられたるは用意の周到なるを謝するの外なきなり

W. Ganong-A Text book of Botany for Colleges

本書は米國に於ける高等普通教育に於ける植物學の教科書として編纂せられしものにして氏は元來 College の教授として多年種々なる植物生理學上の器械などを工夫し居られし人なれば本書も顯花植物の形態を説くと同時に生理學及組織學上の智識を與ふる様にして葉、莖、根の順序に論述し順次に花の形態及生理に及び性の問題或は遺傳などにも簡短に觸れ果實及種子を以て結び其間に生態に關する方面或は病理又は經濟的方面にも多少亘りて述べられたり三百九十頁の小冊子故素より詳細なる事は得て望むべからざるも小さき纏りたる教科書參考書としては佳なるものなり唯隱花植物に就て餘りに關係せざるは

叙述の上より止むを得ぬ事ながら缺點の一とも云はるべきか(保井)

物 理

交番電流とヴェクトル應用 寶來勇四郎
實用電氣測定器具 福田 豊

理 科 部 報 告

1. 會員數

會 員(在校生)	19人
贊助員(卒業生)	320人
客 員	9人

2. 會の仕事

講演	3回
雜誌發行數	3回

3. 會費

收支計算

入ノ部	511.30円
前年度繰越高	290.60円
會費(卒業生)	172.20円
内譯 會報實費(在校生)	34.74円
利子	13.46円
寄附	0.30円
出ノ部	224.39円
會報印刷費	181.16円